

# ◇品川清掃工場が試運転を開始しました◇

平成14年秋から始まった工事は、既存プラントの解体、基礎工事、く体工事、仕上げ工事、プラント製作・据付工事と進み、現在はプラントの試運転、外構工事等が行われています。

この試運転期間に主として次の三つを実施しています。

第一は、設置した機器の調整、慣らし運転等です。本年8月8日に受電し、10月24日にごみ搬入、翌25日灰搬入、11月2日ごみ焼却開始、翌3日灰溶融開始と進んでいます。受電後、機器の単体調整、慣らし運転を充分に行い、さらにごみ焼却、灰溶融の開始以降はごみ焼却施設・灰溶融施設としてのシステム調整等を行っています。

第二は、性能を確認する各種検査の受検です。需要設備や発電設備の使用前検査、安全管理

審査、予備性能試験、性能試験と検査や試験が続き、また建築関係では消防検査や東京都の建築主事検査に合格しました。

第三は、職員の研修です。9月15日に品川清掃工場に職員が配置され、その後、工場職員は机上研修やOJT等多くの研修プログラムをこなしています。

試運転に係る各種試験の立会いなども工場職員の研修の一環として実施しています。



▲南西方向から望む品川清掃工場

現在、構内舗装工事、清掃車出入り口の門扉工事、植栽工事等を施工し、外構工事の最盛期を迎えています。とくに、清掃車の円滑な構内運行の確保や工場内の築山に調和した緑化に努めています。

平成18年3月15日の竣工に向け、残された時間はわずかですが、関係者一同、「日本一の清掃工場を造ろう」を合言葉にがんばっています。



▲中央制御室での運転操作

## ◇一組議会の中防処理施設・埋立処分場視察◇

平成17年11月14日午前9時30分から清掃一組議会による中防処理施設並びに埋立処分場の視察が行われました。

開始に先立ち、一組議会の宮沢議長より、循環型社会の形成に向け、再資源化・リサイクル推進への取り組み、限りある埋立処分場の延命化のためごみ量の最小化を図っていく必要がある等のご挨拶がありました。

事業及び施設概要説明では、先ず、中防処理施設管理事務所の柳

井所長から、不燃ごみ処理センター及び粗大ごみ破碎処理センターの平成16年度事業実績等を説明し、さらに三宅島に帰島された方々の粗大ごみ等もこの施設で処理したことを報告いたしました。次に、廃棄物埋立管理事務所の安藤所長より、今まで設置された埋立処分場の変遷、現在使用している中央防波堤外側埋立処分場と新海面処分場(東京港内に設置できる最後の処分場)の施設概要説明を報告したところです。

その後、現地のそれぞれの施設をバスでご案内するとともに、粗大ごみの持込み、埋立処分場の残余年数、灰溶融スラグ等のご質問にお答えし、終了いたしました。



▲中央防波堤外側処分場